

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
食生活支援	9 看護師・教員の指導のもとで、患者の疾患に応じた食事内容が指導できる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
食生活支援	10 看護師・教員の指導のもとで、患者の個性を反映した食生活の改善を計画できる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経管栄養法(経鼻胃チューブの挿入)	11 モデル人形での経鼻胃チューブの挿入・確認ができる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経管栄養法(流動食の注入)	12 経管栄養法を受けている患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経管栄養法(流動食の注入)	13 看護師・教員の指導のもとで、患者に対して、経鼻胃チューブからの流動食の注入ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経管栄養法(流動食の注入)	14 削除した		
自然排尿・排便援助	15 自然な排便を促すための援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
自然排尿・排便援助	16 自然な排尿を促すための援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
便器・尿器の使い方	17 患者に合わせた便器・尿器を選択し、排泄援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
18 便器・尿器の使い方	ポータブルトイレでの患者の排泄援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
19 オムツ交換	看護師・教員の指導のもとで、患者のおむつ交換ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
20 失禁ケア	削除した		
21 失禁ケア	失禁をしている患者の皮膚粘膜の保護がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
22 失禁ケア	看護師・教員の指導のもとで、失禁をしている患者のケアができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
23 排便	基本的な排便の方法、実施上の留意点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
24 排便	削除した		
25 膀胱内留置カテーテル法(挿入)	モデル人形に導尿または膀胱留置カテーテルの挿入ができる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
26 膀胱内留置カテーテル法(管理)	膀胱留置カテーテルを挿入している患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
膀胱留置カテーテル法(管理)	27 膀胱留置カテーテルを挿入している患者のカテーテル固定、ルート管理、感染予防の方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
洗腸	28 モデル人形にグリセリン浣腸ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
導尿	29 25と合体のため削除した		
ストーマ造設者のケア	30 基本的なストーマ造設部の管理、パウチ交換の方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
ストーマ造設者のケア	31 ストーマを造設した患者の一般的な生活上の留意点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
体位変換	32 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者の体位変換ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
移送(車いす)	33 看護師・教員の指導のもとで、患者の機能に合わせてベッドから車椅子への移乗ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
移送(車いす)	34 患者を車椅子で移送できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
歩行・移動の介助	35 患者の歩行・移動介助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度 I : ひとりで実施できる 到達度 II : 看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度 III : 学内演習 (モデル人形、あるいは学生間) で実施できる 到達度 IV : 知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標 (卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
廃用性症候群 予防	36 廃用性症候群のリスクをアセスメントできる (到達度 I)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
廃用性症候群 予防	37 看護師・教員の指導のもとで、廃用性症候群予防のための自動・他動運動ができる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
廃用性症候群 予防	38 廃用性症候群予防のための呼吸機能を高める援助がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
入眠・睡眠の援助	39 入眠・睡眠を意識した日中の活動の援助ができる (到達度 I)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
入眠・睡眠の援助	40 患者の睡眠状況をアセスメントし、基本的な入眠を促す援助を計画ができる (到達度 I)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
安静	41 看護師・教員の指導のもとで、目的に応じた安静保持の援助ができる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
安静	42 看護師・教員の指導のもとで、体動制限による苦痛を緩和できる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
移送(ストレッチャー)	43 看護師・教員の指導のもとで、患者をベッドからストレッチャーへ移乗できる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
移送(ストレッチャー)	44 看護師・教員の指導のもとで、患者のストレッチャー移送ができる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習（モデル人形、あるいは学生間）で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標（卒業時に全員が習得している到達度）	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
関節可動域訓練	45 関節可動域訓練の方法がわかる（到達度Ⅳ）	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
入浴介助	46 入浴が生体に及ぼす影響を理解し、入浴前・中・後の観察ができる（到達度Ⅰ）	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
入浴介助	47 看護師・教員の指導のもとで、入浴の介助ができる（到達度Ⅱ）	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
部分浴・陰部ケア	48 患者の状態に合わせた足浴・手浴ができる（到達度Ⅰ）	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
部分浴・陰部ケア	49 看護師・教員の指導のもとで、陰部の清潔保持の援助ができる（到達度Ⅱ）	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
沐浴	50 乳幼児の沐浴の必要性と生体に及ぼす影響がわかる（到達度Ⅳ）	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
沐浴	51 モデル人形に沐浴の実施ができる（到達度Ⅲ）	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
清拭	52 臥床患者の清拭ができる（到達度Ⅰ）	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）
清拭	53 清拭援助を通して、患者の観察ができる（到達度Ⅰ）	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他（ ）

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
洗髪	54 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者の洗髪ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
洗髪	55 洗髪援助を通して、患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
口腔ケア	56 看護師・教員の指導のもとで、意識障害のない患者の口腔ケアができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
口腔ケア	57 看護師・教員の指導のもとで、患者の病態・機能に合わせた口腔ケアを計画できる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
口腔ケア	58 口腔ケアを通して、患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
整容	59 患者が身だしなみを整えるための援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
寝衣交換など衣生活援助(臥床患者)	60 輸液ライン等が入っていない臥床患者の寝衣交換ができる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
寝衣交換など衣生活援助(輸液ライン等が入っている患者)	61 看護師・教員の指導のもとで、輸液ライン等が入っている患者の寝衣交換ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
酸素吸入療法	62 看護師・教員の指導のもとで、酸素吸入療法が実施できる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる		到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる		到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる		到達度Ⅳ：知識としてわかる	
看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください	到達度Ⅰ	到達度Ⅱ	到達度Ⅲ	到達度Ⅳ
酸素吸入療法	63 酸素吸入療法を受けている患者の観察ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
酸素吸入療法	64 削除した						
気道内加湿法	65 看護師・教員の指導のもとで、気道内加湿ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
体温調整	66 患者の状態に合わせた温罨法・冷罨法が実施できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
体温調整	67 患者の自覚症状に配慮しながら体温調節の援助ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
吸引(口腔、鼻腔)	68 モデル人形で、口腔内・鼻腔内吸引が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
吸引(気管内)	69 モデル人形で、気管内吸引ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
吸引(気管内)	70 気管内吸引時の観察点がかかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				
体位ドレナージ	71 モデル人形あるいは学生間で体位ドレナージを実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()				

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
酸素ポンベの操作	72 酸素の危険性を認識し、安全管理の必要性がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
酸素ポンベの操作	73 学内演習で酸素ポンベの操作ができる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
人工呼吸器装着中の患者のケア	74 削除した		
人工呼吸器装着中の患者のケア	75 人工呼吸器装着中の患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
低圧胸腔内持続吸引中の患者のケア	76 削除した		
低圧胸腔内持続吸引中の患者のケア	77 低圧胸腔内持続吸引中の患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
低圧胸腔内持続吸引中の患者のケア	78 削除した		
	79 循環機能のアセスメントの視点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
	80 末梢循環を促進するための部分浴・巻法・マッサージができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
褥創の予防ケ ア	81 削除した		
褥創の予防ケ ア	82 患者の褥創発生の危険をアセスメントできる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
褥創の予防ケ ア	83 84と合体のため削除した		
褥創の予防ケ ア	84 褥創予防のためのケアが計画できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
褥創の予防ケ ア	85 看護師・教員の指導のもとで、褥創予防のためのケアが実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
包帯法	86 学生間で基本的な包帯法が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
創傷処置	87 学内演習で創傷処置のための無菌操作ができる(ドレーン類の挿入部の処置も含む)(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
創傷処置	88 創傷処置に用いられる代表的な消毒薬の特徴がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
創傷処置	89 看護師・教員の指導のもとで、患者の状態に応じた創傷保護材が選択できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
創傷処置	90 看護師・教員の指導のもとで、患者の創傷の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経口・経皮・外用薬の与薬方法	91 看護師・教員の指導のもとで、経口薬(パツカール錠・内服薬・舌下錠)の服薬後の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経口・経皮・外用薬の与薬方法	92 経口薬の種類と服用方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経口・経皮・外用薬の与薬方法	93 看護師・教員の指導のもとで、経皮・外用薬の投与前後の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
経口・経皮・外用薬の与薬方法	94 経皮・外用薬の与薬方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
直腸内与薬方法	95 看護師・教員の指導のもとで、直腸内与薬の投与前後の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
直腸内与薬方法	96 モデル人形に直腸内与薬が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	97 点滴静脈内注射をうけている患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	98 中心静脈内栄養をうけている患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
点滴静脈内注射・中心静脈栄養の管理	99 学内演習で点滴静脈内注射の輸液の管理ができる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	100 皮内注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	101 皮下注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	102 モデル人形または学生間で皮下注射が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	103 筋肉内注射後の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	104 モデル人形または学生間で筋肉内注射が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮内・皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	105 静脈内注射の実施方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習（モデル人形、あるいは学生間）で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標（卒業時に全員が習得している到達度）	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	106 モデル人形に点滴静脈内注射が実施できる (到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	107 薬理作用をふまえて静脈内注射の危険性がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
皮下・筋肉内・静脈内注射の方法	108 静脈内注射実施中の異常な状態がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
輸液ポンプの操作	109 輸液ポンプの基本的な操作方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
輸液ポンプの操作	110 削除		
抗生物質の用法と副作用の観察	111 削除		
抗生物質の用法と副作用の観察	112 抗生物質を投与されている患者の観察点がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	113 インシュリン製剤の種類に応じた投与方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度 I : ひとりで実施できる 到達度 II : 看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度 III : 学内演習 (モデル人形、あるいは学生間) で実施できる 到達度 IV : 知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標 (卒業時に全員が習得している到達度)	B. A の到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. B で同意しない場合、1～5 より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6 を選び、理由を記載してください
インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	114 インシュリン製剤を投与されている患者の観察点がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
麻薬の主作用・副作用の観察	115 麻薬を投与されている患者の観察点がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
薬剤等の管理 (毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤を含む)	116 薬剤等の管理 (毒薬・劇薬・麻薬・血液製剤を含む) 方法がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
輸血の管理	117 輸血が生体に及ぼす影響をふまえ、輸血前・中・後の観察点がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
意識レベル把握	118 意識レベルの把握方法がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
意識レベル把握	119 看護師・教員の指導のもとで、患者の意識状態を観察できる (到達度 II)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
気道確保	120 急変時の気道確保の方法がわかる (到達度 IV)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
気管挿管	121 削除		

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選り、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
人工呼吸	122 モデル人形で人工呼吸が正しく実施できる (到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
閉鎖式心マッサージ	123 モデル人形で閉鎖式心マッサージが正しく実施できる (到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
除細動	124 除細動の原理がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
止血	125 止血法の原理がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
チームメンバーへの応援要請	126 緊急時のチームメンバーへの応援要請の必要性がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
バイタルサイン(体温、脈拍、呼吸、血圧)の観察	127 バイタルサインが正確に測定できる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
身体計測	128 正確に身体計測ができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
症状・病態の観察	129 看護師・教員の指導のもとで、系統的な症状の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
症状・病態の観察	130 患者の一般状態の変化に気づくことができる(到達度Ⅰ)	同意する・同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
症状・病態の観察	131 看護師・教員の指導のもとで、バイタルサイン・身体測定データ・症状などから患者の状態をアセスメントできる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検体の採取と扱い方(採尿、尿検査)	132 看護師・教員の指導のもとで、目的に合わせた採尿の方法を理解し、尿検体の正しい取り扱いができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	133 モデル人形または学生間で静脈血採血が実施できる(到達度Ⅲ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	134 看護師・教員の指導のもとで、簡易血糖測定ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検体の採取と扱い方(採血、血糖測定)	135 血液検査の目的を理解し、目的に合わせた血液検体の取り扱い方がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検査時の援助(心電図モニター、パルスオキシメータの使用、スパイロメータの使用)	136 看護師・教員の指導のもとで、正確な検査が行えるための患者の準備ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検査時の援助(心電図モニター、パルスオキシメータの使用、スパイロメータの使用)	137 看護師・教員の指導のもとで、検査の介助ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ:ひとりで実施できる 到達度Ⅱ:看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ:学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ:知識としてわかる

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
検査時の援助 (胃カメラ、気管 支鏡、腰椎穿 刺、12誘導心電 図など)	138 身体侵襲を伴う検査の目的・方法、検査が生 体に及ぼす影響がわかる(到達度Ⅳ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検査時の援助 (胃カメラ、気管 支鏡、腰椎穿 刺、12誘導心電 図など)	139 看護師・教員の指導のもとで、検査後の安静 保持の援助ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
検査時の援助 (胃カメラ、気管 支鏡、腰椎穿 刺、12誘導心電 図など)	140 看護師・教員の指導のもとで、検査前、中、 後の観察ができる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
スタンダードプリ コーション	141 スタンダード・プリコーション(標準予防策)に 基づく手洗いが実施できる(到達度Ⅰ)	同意する ・ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
必要な防護用 具(手袋・ゴーグ ル、ガウン等) の選択	142 看護師・教員の指導のもとで、必要な防護用 具(手袋・ゴーグル、ガウン等)の装着ができ る(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
洗浄・消毒・滅 菌の適切な選 択	143 看護師・教員の指導のもとで、洗浄・消毒・滅 菌の方法が選択できる(到達度Ⅱ)	同意する ・ 同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料Ⅳ-4 続き
第2回調査票

到達度Ⅰ：ひとりで実施できる 到達度Ⅱ：看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度Ⅲ：学内演習(モデル人形、あるいは学生間)で実施できる 到達度Ⅳ：知識としてわかる

看聴技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか いづれかに○印をしてください	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください
感染性廃棄物の取り扱い	144 看護師・教員の指導のもとで、感染性廃棄物の取り扱いができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
無菌操作	145 看護師・教員の指導のもとで、無菌操作が確実にできる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	146 看護師・教員の指導のもとで、針刺し事故防止の対策が実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	147 針刺し事故後の感染防止の方法がわかる(到達度Ⅳ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
療養生活の安全確保	148 看護師・教員の指導のもとで、患者の機能や行動特性に合わせて療養環境を安全に整えることができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
転倒・転落・外傷予防	149 看護師・教員の指導のもとで、患者の機能や行動特性に合わせて転倒・転落・外傷予防ができる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
医療事故予防	150 学内演習で誤薬防止の手順にそった与薬ができる(到達度Ⅲ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
医療事故予防	151 看護師・教員の指導のもとで、患者を認識しないための防止策を実施できる(到達度Ⅱ)	同意する・同意しない	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-4 続き
第2回調査票

到達度 I : ひとりで実施できる 到達度 II : 看護師・教員の指導のもとで実施できる 到達度 III : 学内演習 (モデル人形、あるいは学生間) で実施できる 到達度 IV : 知識としてわかる	
看護技術項目	A. 到達目標 (卒業時に全員が習得している到達度)
医療事故予防	152 人体へのリスクの大きい薬剤の暴露の危険性がわかる (到達度 IV)
医療事故予防	153 看護師・教員の指導のもとで、放射線暴露の防止のための行動がとれる (到達度 II)
リスクマネジメント	154 インシデント・アクシデントが発生した場合には、速やかに報告できる (到達度 I)
リスクマネジメント	155 災害が発生した場合には、指示に従って行動がとれる (到達度 I)
体位保持	156 看護師・教員の指導のもとで、患者の状態に合わせて安楽に体位を保持することができる (到達度 II)
電法等身体安楽促進ケア	157 看護師・教員の指導のもとで、患者の安楽を促進するためのケアができる (到達度 II)
リラクゼーション	158 看護師・教員の指導のもとで、患者の精神的安楽を保つための工夫を計画できる (到達度 II)
	B. A の到達目標について同意しますか いずれかに○印をしてください
	C. B で同意しない場合、1～5 より選び、到達度を変更してください。 内容の変更、その他については、6 を選び、理由を記載してください
	1. ひとりで実施できる 2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()
	1. ひとりで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他 ()

ご協力ありがとうございました。

問合せ先 神奈川県立保健福祉大学 小山眞理子

TEL:046-828-2600 FAX:046-828-2601 e-mail : koyama-m@kuhs.ac.jp

「看護基礎教育卒業時の看護技術の到達目標に関する調査」 第3回デルファイ調査(最終調査) ご協力をお願い

平成17年度厚生労働科学研究(医療技術評価総合研究事業) 看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究

看護基礎教育卒業時の看護技術の到達目標に関する第2回デルファイ調査へのご協力、誠にありがとうございました。引き続き、3回目のデルファイ調査へのご協力をどうぞよろしくお願い致します。

1. 第3回デルファイ調査の目的等について

第3回デルファイ調査は、2回目の調査結果のうち、合意率が90%未満の項目について、最終的な合意を図ることを目的にしています。

第2回目で「同意する」率が90%を超えた52項目については、教育および看護実践の専門家からの合意が得られたものと判断し、今回の調査項目には含めておりません。90%未満の項目については、研究者グループで結果を分析し、到達度を修正、削除、あるいはそのままとしましたので、これらの項目について再度、同意の有無を伺わせていただきます。今回の調査を最終のものと考えております。

第3回調査票において、看護技術の到達目標が、卒業時に全員が習得している到達度(ここでいう到達度は、実習中ではなく、卒業時の到達度を指しています)として同意できるものかどうか、ご回答をよろしくお願致します

2. ご回答の方法について

第2回目の調査と同様に、以下の例の手順で回答を行って下さい。尚、第2回目のデルファイ調査で「同意する」率が90%を超えた到達目標は、抜いてありますので、調査項目は、93項目になります。

① 卒業時に全員が習得している到達度として同意するか、しないかを○印で選んで下さい。全項目に回答をお願いします。

② 同意しない場合に1～5より選び、到達度を変更してください。尚、Aの項目の到達度と同じ到達度の番号は抜いてあります。内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください。

<回答例>

第3回調査票

看護技術項目	A. 到達目標(卒業時に全員が習得している到達度)	B. Aの到達目標について同意しますか。 <small>いずれかに○印をしてください。</small>	C. Bで同意しない場合、1～5より選び、到達度を変更してください。内容の変更、その他については、6を選び、理由を記載してください。
ベッドメーカーキング	2 基本的なベッドメーカーキングができる(到達度I)	同意する ○ 同意しない	2. 看護師・教員の指導のもとで実施できる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()
リネン交換	3 看護師・教員の指導のもとで、臥床患者のリネン交換ができる(到達度II)	同意する ○ 同意しない	1. ひとりですることができる 3. 学内演習で実施できる 4. 知識としてわかる 5. 卒業後の習得でよい 6. その他()

資料IV-5 続き

3. ご返送について

3回目の調査票のご回答は同封の返信用封筒を用いて、3月3日(金)までにご投函をお願いいたします。(期間が短くて本当に恐縮ですが、よろしく願い致します。)尚、本調査のデータ入力は、「有限会社Yukari & Co.」に依頼してありますので返信用封筒の宛先はそちらになっておりますことをご了承下さい。

4. ご記名のお願い

調査票の最終ページに、貴方様の所属・氏名欄へのご記入をお忘れなくお願い申し上げます。お名前は前回の調査と同様、参加状況の把握および研究報告書の送付のために使わせていただくとのみで、調査内容の分析には用いることはありませんことをご了承下さい。

5. 本調査結果の活用について

本デルファイ調査の結果は、別の2つの実態調査(卒業前の学生の实態調査、ならびに看護学生が臨地実習で実施できる看護技術についての病院調査)の結果とともに、研究者グループ以外の有識者による会議に諮り、最終的な看護技術の到達目標を検討していただくための資料にさせていただきます。本調査の目的である、卒業時の到達目標については、上記のプロセスを経て決めさせていただきます。最終的な結果につきましては、報告書にまとめ、報告させていただきます。

年度末のご多忙の折、大変恐縮ですが第3回目の調査へのご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。
本調査に関する問い合わせは小山までどうぞ遠慮なく連絡いただければ幸いです。

平成17年度厚生労働科学研究(医療技術評価総合研究事業)
「看護基礎教育における看護技術教育の充実に関する研究」

主任研究者 神奈川県立保健福祉大学 小山眞理子
TEL:046-828-2600 FAX:046-828-2601
e-mail: koyama-m@kuhs.ac.jp